

7月の衛研検査情報

～トピックス～

平成27年度 医動物・種類同定検査のまとめ（4～6月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 平成27年4月から6月の種類同定検査件数は、13件でした。内訳は昆虫類1件（コウチュウ目1件）、その他の節足動物12件（クモ目11件、ダニ目1件）でした。

平成26年度 薬事検査について

平成26年度は健康福祉局医療安全課の依頼により、「いわゆる健康食品」について試買検査を実施しました。

主な結果 「ダイエット」、「痩身」等を標榜している「いわゆる健康食品」12検体について、センナ、フェンフルラミン、N-ニトロソフェンフルラミン、エフェドリン、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリン、ノルエフェドリン、甲状腺ホルモンの検査を行いました。さらに、男性を対象とした2検体については、メチルテストステロン、ヨヒンビンの検査も行いました。その結果、いずれの成分も検出されませんでした。

また、「強壮効果」を標榜している「いわゆる健康食品」18検体について、シルデナフィール、タダラフィル、バルデナフィル、ホンデナフィル、キサントアントラフィル、チオキナピペリフィル、メチルテストステロン、ヨヒンビンの検査を行いました。その結果、いずれの成分も検出されませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成27年6月は、伝染性紅斑、クロストリジウム-ディフィシル感染症、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は111,271件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。